

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成24年3月期 第2四半期決算短信説明資料
平成23年11月10日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目次

【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の伸張)

【2】営業施策進捗

- ①新規出店計画
- ②業者向け販売の強化
- ③M & A・海外進出の検討

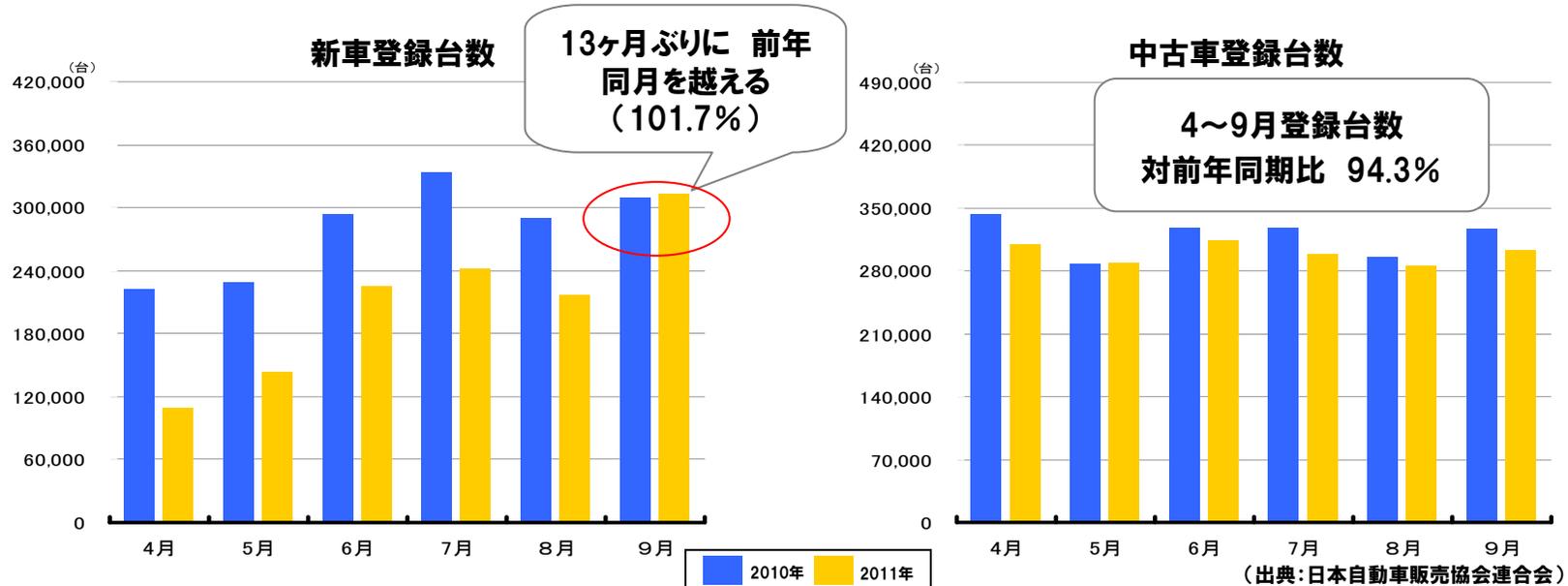
【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

新車販売は回復の兆し、中古車は下げ止まらず

- ✓ 新車は、ようやく需給のバランスが取れてきたが、円高不安などによる懸念材料が存在
- ✓ 新車販売の回復により、中古車の供給は増加したものの、需要は減少傾向

依然、自動車流通業市場は、先行き不透明

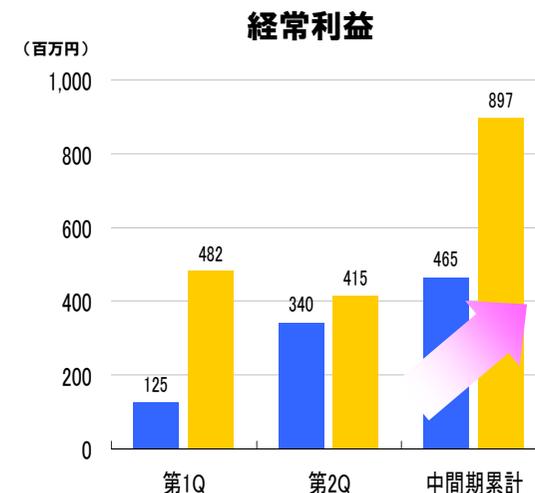
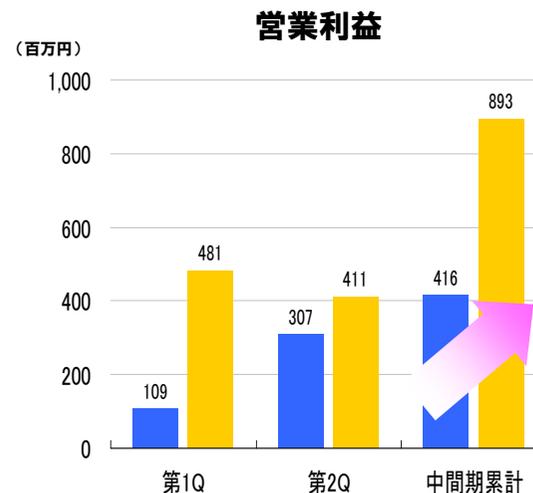
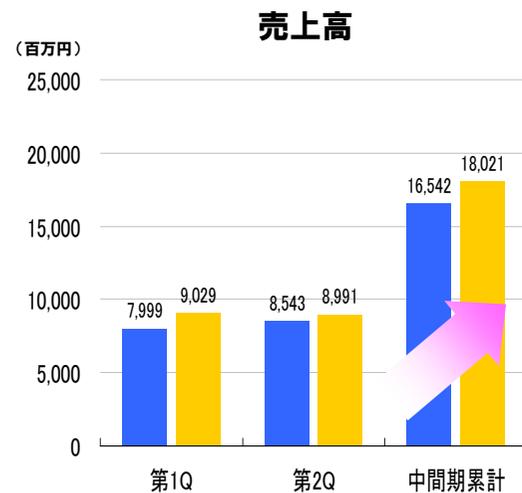


【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

上半期実績、大幅な増収増益(対前年同期比)

【2Q累計】 売上高	18,021百万円 (前年同期比108.9%)
営業利益	893百万円 (前年同期比214.6%)
経常利益	897百万円 (前年同期比192.8%)



【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

自己資本比率および流動比率ともに向上(1Q比)

(単位:百万円)

	平成24年3月期 2Q	平成24年3月期 1Q	前四半期比	平成23年3月期末	前期末比
流動資産	5,917	5,608	105.5%	5,252	112.7%
固定資産	982	993	98.8%	1,066	92.1%
総資産	6,899	6,602	104.5%	6,318	109.2%
流動負債	2,014	2,117	95.1%	4,128	48.8%
固定負債	151	150	100.3%	147	102.8%
純資産	4,733	4,333	109.2%	2,042	231.8%
負債・純資産合計	6,899	6,602	104.5%	6,318	109.2%

《補足説明(1Q比)》

- ✓ 流動資産 : 1Q比308百万円増加 現預金・売掛金195百万円減少、商品510百万円増加
- ✓ 流動負債 : 1Q比103百万円減少 買掛金・未払金69百万円増加、閉鎖店舗引当金61百万円・短期借入金が減少
 - ▶ 流動比率 293.7% (1Q 264.8%)
- ✓ 純資産 : 四半期純利益393百万円の計上により増加
 - ▶ 自己資本比率 68.5% (1Q 65.5%)

【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

対前年同期比 増収増益により、中間期業績予想を大幅に達成

(単位:百万円)

	平成24年3月期 2Q (累計)	平成23年3月期 2Q (累計)	前年同期 増減率
売上高	18,021	16,542	108.9%
売上原価	14,364	13,270	108.2%
売上総利益	3,657	3,272	111.7%
販管費	2,763	2,856	96.8%
営業利益	893	416	214.6%
経常利益	897	465	192.8%
四半期純利益	2,697	258	1,043.8%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 震災後から続く厳しい環境の中、前々期からの新規出店及び従業員の生産性向上により、前2Q比108.9%と大幅増収
- ✓ 売上総利益 : ユーザー買取台数が前2Q比109.1%増加し、売上総利益額も前2Q比111.7%と増加
オートオークション販売は、1Qに比べ相場が下落傾向になったものの、売上総利益率は前2Q比0.5%増を確保
- ✓ 販売管理費 : 新規出店による人件費等の増加はあるものの、地代家賃(横浜CT店閉鎖)等の減少により前2Q比96.8%
販管費率 15.3%(前2Q 17.3%)
- ✓ 営業利益 : 前2Q比214.6%と大幅に増加 営業利益率 5.0%(前2Q 2.5%)

【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑤ キャッシュ・フロー計算書

営業キャッシュ・フロー、増益により大幅増

(単位:百万円)

	平成24年3月期 2Q累計	平成23年3月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,420	450
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△5
現金及び現金同等物の増加額	1,455	846
現金及び現金同等物の期末残高	2,663	1,752

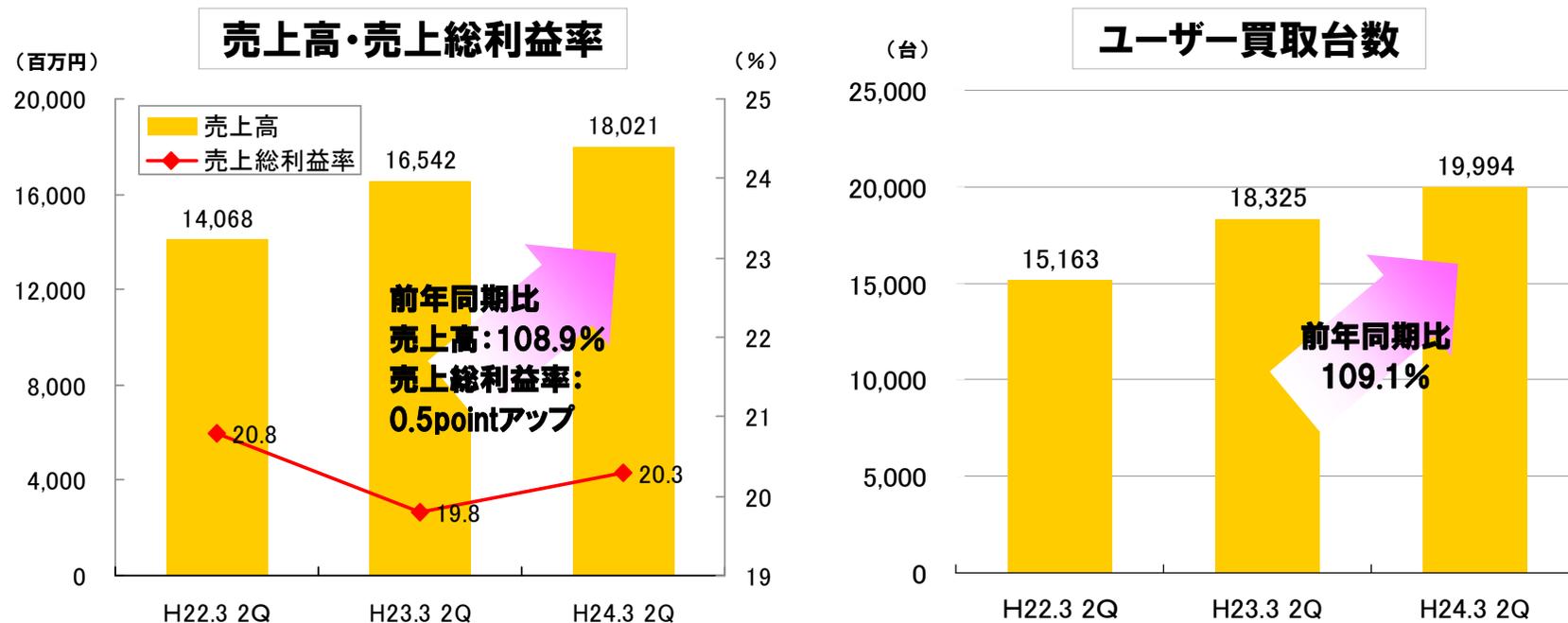
《補足説明》

- ✓ 営業CF : たな卸資産の増加(128百万円)、閉鎖店舗引当金の減少(122百万円)のマイナス要因があったものの、大幅な増益、1Qにおける訴訟の勝訴による拘束性預金(500百万円)の解除、および売上債権の減少(470百万円)により、前年同期に比べ大幅に増加
- ✓ 投資CF : 敷金回収による収入、投資有価証券の売却による収入

【1】平成24年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の伸張)

■売上高の続伸と売上総利益率の改善およびユーザー買取台数の伸張



- ✓ 新車販売の回復の兆しにより、中古車の供給は増加傾向。前々期からの積極的かつ効果的な新規出店によりユーザー買取台数が続伸。(1Q対前年同期比108.9%)
- ✓ 売上総利益率は、1Qに比べオートオークションの相場が下落傾向であったものの、20.3%を確保(1Q 21.2%)

【2】 営業施策進捗

① 新規出店計画

■ 上半期において、4店舗の新規出店
(2Q:北海道釧路市、大阪府寝屋川市)

今期10店舗の新規出店を計画

- ✓ 10月「大阪府貝塚市」にオープンに続き、11月12日に「埼玉県三郷市」にオープン予定
- ✓ 12月に1店舗の出店を予定



【カーチス寝屋川 店舗外観】

既存店のみならず、新規店舗が
収益に大きく貢献
引き続き、東名阪を中心に
積極的な出店を計画

【新規出店店舗実績】

	店舗名	2Q実績(累計)
前々期 新規出店	カーチス大阪平野	売上高 1,425百万円 店舗収益 111百万円
	カーチス柏	
	カーチス盛岡	
	カーチス熊谷	
	カーチス名古屋緑	
	カーチス水戸	
前期 新規出店	カーチス江戸川	売上高 980百万円 店舗収益 48百万円
	カーチス小田原	
	カーチス倉吉	
	カーチス泉大津	
	カーチス越谷	

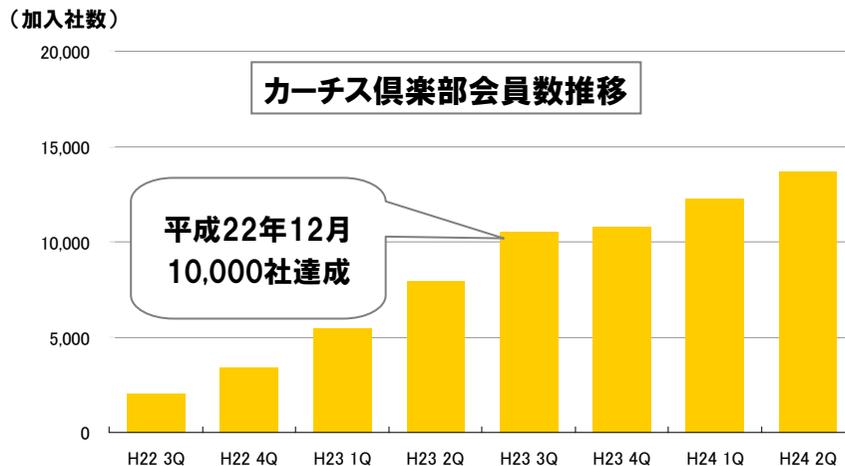
【2】 営業施策進捗

② 業者向け販売の強化

■ カーチス倶楽部の更なる拡充(H23.12月末目標会員数 15,000社)

- ✓ 会員数14,233社 (平成23年10月31日現在) ⇒ 順調に進捗
- ✓ H23.2月よりスタートした、中部自動車販売(株)との共有在庫システムの確立に続き、H23.10月に(株)ジェイ・エー・エーとの共有在庫システムを開始

付帯サービスを充実させ、
会員様とのお取引の更なる活性化を目指す



【「カーチス倶楽部」会員様専用HP】

【2】 営業施策進捗

③M & A・海外進出の検討

■ 海外進出の検討

韓国進出を検討中

韓国へ社員を派遣し、詳細調査を開始

中国、東南アジアにおいても

引き続き、進出を検討

■ M & Aの検討

引き続き、国内外を問わず

M & Aを積極的に検討

<韓国進出検討背景>

- ✓ 韓国中古車市場の伸張
近年、中古車売買台数が急増
- ✓ 自動車産業に対する政府の優遇政策の実施
⇒ 中古車流通システムの整備が進むと判断

